

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	実践女子大学短期大学部
設置者名	学校法人 実践女子学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	日本語コミュニケーション学科 情報スキルコース	夜・通信	12	0	23	35	7	
	日本語コミュニケーション学科 コミュニケーションスキルコース	夜・通信			25	37	7	
	日本語コミュニケーション学科 出版編集コース	夜・通信			34	46	7	
	英語コミュニケーション学科 観光ビジネスコース	夜・通信			23	35	7	
	英語コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース	夜・通信			23	35	7	
(備考) 全学共通科目（共通教育科目）については、1年は新課程、2年は旧課程で記入								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.jissen.ac.jp/life/lesson_and_unit/outline.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	実践女子大学短期大学部
設置者名	学校法人 実践女子学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.jissen.ac.jp/school/about/administrators/index.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	株式会社役員	2017年4月 ～ 2020年3月	経営全般
常勤	学校法人役員	2019年4月 ～ 2020年3月	経営企画・広報 総務・人事
非常勤	公益財団法人役員	2018年4月 ～ 2021年3月	ガバナンス改革・ダイバーシティ
非常勤	法律事務所・弁護士	2019年4月 ～ 2020年3月	ガバナンス改革・法務
非常勤	一般社団法人役員	2019年5月 ～ 2022年5月	卒業生との連携
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	実践女子大学短期大学部
設置者名	学校法人 実践女子学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの記載内容については、事前に短期大学部運営委員会で確認し、決定しています。毎年度のシラバス作成スケジュールについては、6月頃に委員会で確認し、11月から授業担当教員に執筆依頼を行います。執筆依頼の際には、各項目における注意事項を示し、記載内容の充実を図っています。執筆されたシラバスについては、事務局で未記入項目等の簡易的なチェックの後、各授業科目における責任者(学科主任・教務委員等)による第三者チェックを行い、内容・記述等が適正であるか確認し、必要に応じて授業担当教員に修正を依頼しています。シラバスは3月上旬に校了し、3月下旬頃からWebサイト及び教務システムにおいて公開しています。また、4月のオリエンテーション時に冊子も配布しています。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.jissen.ac.jp/life/lesson_and_unit/outline.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目における評価は、各学生の学修成果について、あらかじめシラバスに示した授業における到達目標と成績評価の方法・基準に基づき、授業担当教員が総合的に判断することで、厳格かつ適正に実施しています。科目の内容や方法に合わせて、試験によるもののほか、レポートやプレゼンテーション、授業への参加度などの評価方法を設定し、その配分(%)を示しています。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価においては、客観的な指標としてGPAを設定しています。</p> <p>GPAは、成績評価を点数(GP)に換算(+A:4、A:3、B:2、C:1、D・欠・失[不合格]:0)し、「履修科目の単位数×GP」の合計÷履修科目の合計単位数(小数点以下第3位を四捨五入)で算出しています。</p> <p>GPAの算出方法については、全学生に配布される履修要項の他、大学Webサイトで公表しています。</p> <p>また、年2回前期・後期の成績発表後に、授業ごとの成績の分布状況の把握を行い、教員間や授業間での評価基準のばらつき等の問題がないか確認しています。各学生のGPAについても、学部・学科等の所属別に成績の分布状況を把握し、評価が適切か点検しています。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.jissen.ac.jp/life/lesson_and_unit/structure.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定については、本学の教育理念に基づき、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を策定し公表しています。ディプロマ・ポリシーでは、「国際的視野」「美の探求」の2つの態度を核に、「研鑽力」「行動力」「協働力」の3つの能力を身につけ、所定の卒業要件単位を修得した者に学位を授与するものとして全学的に定めています。また、各学科においては、更に専門分野に応じた態度・能力等を策定しています。</p> <p>ディプロマ・ポリシーに定める能力については、授業科目の修得の他、本学独自の成長診断テストを実施し、その達成度を測り、学生が成長を実感し、学修意欲を高める取り組みを行っています。</p> <p>最終的な卒業認定は、修得単位数に基づき短期大学部教授会での判定により、学長が決定します。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.jissen.ac.jp/learning/junior_college/policy/conferment.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	実践女子大学短期大学部
設置者名	学校法人 実践女子学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.jissen.ac.jp/about/information_disclosure/02-01.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.jissen.ac.jp/about/information_disclosure/02-01.html
財産目録	https://www.jissen.ac.jp/about/information_disclosure/02-01.html
事業報告書	https://www.jissen.ac.jp/about/information_disclosure/02-01.html
監事による監査報告(書)	https://www.jissen.ac.jp/about/information_disclosure/02-01.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 2019年度 事業計画書 対象年度: 2019年度)
公表方法: https://www.jissen.ac.jp/about/information_disclosure/02-01.html
中長期計画(名称: 対象年度:)
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.jissen.ac.jp/about/information_disclosure/07-02.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.jissen.ac.jp/about/information_disclosure/07-02.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 日本語コミュニケーション学科
教育研究上の目的 (公表方法: https://www.jissen.ac.jp/about/information_disclosure/07-05.html) (概要) 日本語・日本文学・日本文化に関する専門教育やビジネススキル教育を共通基盤として、情報スキル、コミュニケーションスキル及び出版編集の 3 コースにおいて専門性の高い実学教育を行い、教養と実務能力を兼ね備えた人材を育成することを目的とします。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.jissen.ac.jp/learning/junior_college/nitikomi/index.html) (概要) ディプロマ・ポリシーを実現するために設定したカリキュラムの履修を通して学識・技能・態度を社会に還元し貢献するために、以下に掲げる能力と態度を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。 ・学修を通して自己成長していく力 ・日本語力 ・コミュニケーション力 ・社会人力 ・国際性
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: https://www.jissen.ac.jp/learning/junior_college/nitikomi/index.html) (概要) 日本語コミュニケーション学科では、日本語・日本文学・日本文化に関する豊かな教養教育と、コミュニケーションスキル、情報スキル、ビジネススキルそして出版メディアに関するスキルを高める専門的な実務教育を行い、学識と実務能力を兼ね備えた人材を育成することを目的としています。そのため能動的な学修の充実を図るために、アクティブラーニング、演習、少人数制授業を積極的に導入しています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: https://www.jissen.ac.jp/learning/junior_college/nitikomi/index.html) (概要) 学科のカリキュラムを十分に理解し、意欲的に学ぶ能力を持つとともに、以下に掲げる要件の一つ以上当てはまる人を求めます。 i. 日本文学や日本文化に関心があり、そこに表れた日本人の情緒や感性を深く理解したい ii. ことばについての知識と理解を深め、日本語 4 技能を磨き上げたい iii. 多様な場面における対人コミュニケーションスキルを高めたい iv. ネットワーク社会におけるコミュニケーションスキルを高めたい v. 社会で通用するビジネススキルを習得し、汎用的能力と協働力を伸ばしたい vi. 本や雑誌に興味があり、文章作成能力や出版物の企画編集能力を身につけたい vii. 図書館司書の資格や、学科で取得可能な資格を取得して進路選択につなげたい viii. 2 年間の学びを礎に、4 年制大学へ編入してさらに発展的に学びを深めたい
学部等名 英語コミュニケーション学科
教育研究上の目的

(公表方法: https://www.jissen.ac.jp/about/information_disclosure/07-05.html)
(概要) 観光ビジネスコース及び国際コミュニケーションコースにおいて、英語の運用能力の向上を図るとともに、英米の言語・文学・社会・文化に関する知識や国際社会の諸問題への認識を深めさせることを目的とします。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.jissen.ac.jp/learning/junior_college/eikomi/index.html ）
(概要) コミュニケーション力、言語と社会・文化の理解、観光ビジネスの知識と技能、国際コミュニケーションの知識と技能を身につけ所定の単位を修得した学生に学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.jissen.ac.jp/learning/junior_college/eikomi/index.html ）
(概要) カリキュラムは、次の7つから成り立っています。 1. コミュニケーションスキルズ 2. ことばと文化 3. 学外研修 4. 観光ビジネス 5. 国際コミュニケーション 6. 基礎演習 7. 卒業演習
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.jissen.ac.jp/learning/junior_college/eikomi/index.html ）
(概要) コミュニケーション能力を向上させようと考えているひと、言語と文化の理解を深めようとしているひと、観光関連産業をはじめとするビジネスに興味を持っているひと、国際社会における活動に対して常に関心を持っているひと、国際人としてのバランス感覚を身につけたいと願っているひとに対して入学を認めます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.jissen.ac.jp/about/information_disclosure/index.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	0人	—					0人
日本語コミュニケーション学科	—	4人	1人	1人	0人	2人	8人
英語コミュニケーション学科	—	4人	2人	1人	0人	2人	9人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		72人					74人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： http://gyoseki.jissen.ac.jp					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
各学期ごとに、学生による授業アンケートとそのフィードバックを行うと共に、アクティブラーニングやシラバスの書き方等の授業改善を目的とした研修会等を計画し、実施しています。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
日本語コミュニケーション学科	80人	100人	125.0%	160人	197人	123.1%	0人	0人
英語コミュニケーション学科	100人	126人	126.0%	200人	244人	122.0%	0人	0人
合計	180人	226人	125.6%	360人	441人	122.5%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
英語コミュニケーション学科	111人 (100%)	6人 (5.4%)	80人 (72.1%)	25人 (22.5%)
日本語コミュニケーション学科	87人 (100%)	11人 (12.6%)	66人 (75.9%)	10人 (11.5%)
合計	198人 (100%)	17人 (8.6%)	146人 (73.7%)	35人 (17.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) いすゞ自動車(株)、キャノン(株)、(株)JALスカイ、三菱鉛筆(株)、横浜信用金庫				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
日本語コミュニケーション学科	96人 (100%)	82人 (85.4%)	3人 (5.2%)	9人 (9.4%)	2人 (2.1%)
英語コミュニケーション学科	124人 (100%)	109人 (87.9%)	2人 (1.6%)	12人 (9.7%)	1人 (0.8%)
合計	220人 (100%)	191人 (86.8%)	5人 (2.3%)	21人 (9.5%)	3人 (1.4%)
(備考) ・その他には、休学による在学期間不足者を含む。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画については、毎年度講義概要（シラバス）に示しています。シラバスについては、学生の修学に役立つよう具体的な記述をすると共に、第三者チェックを行い、内容・記述等が適正であるか確認しています。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 卒業の認定については、本学の教育理念に基づき、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を策定し公表しています。ディプロマ・ポリシーで定めている「国際的視野」「美の探求」の2つの態度を核に、「研鑽力」「行動力」「協働力」の3つの能力を身につけ、所定の卒業要件単位を修得した者に学位を授与します。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	日本語コミュニケーション学科	64単位	有	半期24単位
	英語コミュニケーション学科	62単位	有	半期24単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.jissen.ac.jp/life/institution/index.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
日本語コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科	720,000 円	240,000 円	320,000 円	施設設備費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学科ごとに担任制度を設け、学生の修学上の悩みなどに対し、専任教員と随時相談できる環境を整えています。例年夏休み中には、「修学就職支援フェア」を開催し、学生一人ひとりの修学状況、本学の就職状況や就職支援の取り組みを保護者と情報共有し、学生の修学意欲の向上や問題の解決を行っています。さらに、GPAが著しく低く単位の修得状況が悪い場合は、担任が学生と面談し、適切な履修計画、授業への取り組み方など学生生活上の指導を行います。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>働く女性を取り巻く環境は大きな変化を遂げています。社会の仕組み、変化を理解し、次世代の女性の生き方や働き方を考える授業として共通教育科目「キャリア教育科目」を開設しています。又、2017年度から共通教育科目「オープン講座⑤」を履修し、後期のキャリア・生活支援課主催の講座に出席した学生に対して、単位化をスタートしました。就職活動支援という狭い概念に限定せず、入学時から全学年を対象にきめ細かくキャリア形成をサポートしています。</p> <p>進学については、実践女子大学への内部編入学をはじめ、一般編入学や他大学の指定校推薦編入学など様々な形態の編入学をサポートしています。編入のための小論文対策・英語対策は、学生の進路選択の幅を広げるきっかけとなっています。さらなるレベルアップのための集中講座や個別面接対策講座なども実施し、その他、勉強方法の相談等学生の希望進学先に合わせたアドバイスも行っています。個別相談を通して各大学の最新の編入学情報などを学生に提供し、編入後の大学生活に不安がないよう支援しています。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>入学後の支援を考慮し、受験時に特別措置が必要な受験生には入試要項に記載し申請をお願いしています。</p> <p>入学後は全員が提出する「入学者個人カード」、「健康診断問診票・受診票」に身体障害者手帳保持の有無を記載する欄があり、有の学生には学生総合支援センターまたは保健室が個別に呼び出し、現在の状況と授業及び生活支援について確認しています。また、保健室（保健師、学校医）、学生相談室（カウンセラー、精神科医）等の学内支援体制について説明を行っています。</p> <p>授業及び生活支援を希望する場合は、所属学科及び関係部署が集まり、保護者同伴のもと打ち合わせを実施し、支援が決定した場合は学長名で学内周知の文書を配付しています。支援学生には、定期的に状況確認と支援見直しの検討を行っています。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.jissen.ac.jp/about/information_disclosure/index.html
